

よねざわまちづくりフォーラムの報告について

テーマ：「これからの米沢市のまちづくりの『かてもの』づくり」

市民や学生が気軽な雰囲気の中、まちづくりに対する関心を高めてもらうとともに、幅広い意見を出し合い、出された意見等を新総合計画に反映させることを目的として、実施しました。米沢藩の時代に人々を飢饉から救い、後の食文化にも大きな影響をもたらした「食の手引書『かてもの』」を参考に、現在の本市に根付く文化や資源を「かて」にした、新たなまちづくりの「かてもの」の作成をテーマに進めました。

今回のワークショップでは、総合計画に関する理解を深めるとともに、今とこれからの本市について、意見交換を行いました。第1回では、今の本市について年代を超えて意見を交わし、歴史、文化、産業等、多岐にわたる魅力が出てきました。2回目以降は、世代毎にこれからの本市が目指すべき姿について意見を交わし、これまでの本市の歩みを踏まえ、多角的な視点から意見が出てきました。

全5回のワークショップを通じ、まちづくりを「自分ごと」として捉えていただく機会になったと同時に、これからの本市が目指すべき姿を市民と一緒に考える貴重な機会となりました。

1 実施概要

実施目的	まちづくりのキーワードや将来像の検討、まちづくりへの関心の醸成
実施回数	全5回
実施時間	1回につき2時間程度
実施時期/ 参加人数	第1回（キックオフ全体会議）：10月5日（土）14：00～16：00／97名 第2回（高校生ミーティング）：10月23日（水）17：00～19：00／22名 第3回（若者ミーティング）：10月30日（水）18：00～20：00／27名 第4回（まち未来ミーティング①）：11月6日（水）18：00～20：00／38名 第5回（まち未来ミーティング②）：11月20日（水）18：00～20：00／38名
実施場所	1回目：グランドホクヨウ 2回目以降：市役所 4階 休憩コーナー

2 参加者と募集方法

区分	対象	募集方法等
高校生 ミーティング	・市内高校に通う主に高校1～2年生	・市内高校（6校）に依頼
若者 ミーティング	・18歳～概ね29歳の市内在住、在勤又は在学している人（高校生を除く）	・市内大学（3大学）に依頼 ・市内事業所に依頼 ※若手の市職員（20歳代）も参加
まち未来 ミーティング	・18歳～49歳の市内在住、在勤又は在学している人（高校生を除く）（公募） ・関係団体等からの参加者	・公募は広報よねざわ8月15日号、市ホームページ、チラシ等で募集するほか、無作為抽出した市民500人に案内（招待状）を送付 ・関係団体等（約15団体）に依頼 ※総合計画策定プロジェクトチームの市職員も参加

3 プログラム

第1回	テ ー マ：	今の米沢の「かて」を考えよう！
	目的：	総合計画への理解、市の現状や課題の共有
	実施内容：	①ワークショップの実施目的や総合計画について説明 ②「米沢市のかて」について検討 ③発表
	計画への反映：	まちの現状として反映

第2回	テ ー マ：	「自慢したくなるまち」とは？
	目的：	社会課題を認識し、解決に向けた具体的な行動の検討
	実施内容：	①振り返りと今日の流れについて説明 ②「自慢したくなるまち」について検討 ③発表
	計画への反映：	将来像や基本計画策定の基礎資料として反映

第3回	テ ー マ：	「戻って来たい（住み続けたい）まち」とは？
	目的：	まちづくりの参加意識の向上、施策ニーズの把握、市内への就職・定着に向けた意見の検討
	実施内容：	①振り返りと今日の流れについて説明 ②「戻って来たい（住み続けたい）まち」について検討 ③発表
	計画への反映：	将来像や基本計画策定の基礎資料として反映

第4回	テ ー マ：	10年後にどんなまちにしたい？
	目的：	市の魅力、目指すべき姿、市民の役割の検討
	実施内容：	①振り返りと今日の流れについて説明 ②新総合計画の将来像について検討 ③発表
	計画への反映：	将来像や基本計画策定の基礎資料として反映

第5回	テ ー マ：	米沢市を見つめてみよう！
	目的：	分野毎のあるべき姿・必要な取組、市民の役割の検討
	実施内容：	①振り返りと今日の流れについて説明 ②各グループで各分野・テーマについて、あるべき未来と私たちができること、行政に期待することについて検討 ③発表
	計画への反映：	基本計画策定の基礎資料として反映

4 第1回（10/5）

（１）実施概要

第1回	テ ー マ：	今の米沢の「かて」を考えよう！
	目的：	総合計画への理解、市の現状や課題の共有
	実施内容：	①ワークショップの実施目的や総合計画について説明（グループ別自己紹介） ②「米沢市のかて」について検討 ③発表
	計画への反映：	まちの現状として反映

（２）実施結果（一部抜粋）

本市の「かて（魅力や資源）」について、意見を出し合ってもらいました。

- 食の美味しさ(米沢牛、ラーメン、伝統野菜、食に関する魅力が豊富 など)
- 伝統、歴史(上杉鷹山、上杉家ゆかりの地、城下町の風情、伝統文化 など)
- 人の優しさ、温かさ(地域住民の温かさ、助け合いの精神、おもてなしの心 など)
- 自然の豊かさ(温泉、山、川、豊かな自然環境 など)
- 住みやすさ(生活しやすい環境、交通の便、安全 など)
- 文化、イベント(祭り、伝統芸能、イベント、文化的な魅力 など)
- 教育(学園都市、学生の活気、地域への貢献 など)
- 地域とのつながり(地域活動への参加、地域貢献、地元企業との連携 など)
- 観光資源(温泉、歴史スポット、自然、イベント など)
- 産業(ものづくり、米沢織、伝統工芸品、工業団地 など)



5 第2回（10/23）

（１）実施概要

第2回	テ ー マ：	「自慢したくなるまち」とは？
	目的：	社会課題を認識し、解決に向けた具体的な行動の検討
	実施内容：	①振り返りと今日の流れについて説明（グループ別自己紹介） ②「自慢したくなるまち」について検討 ③発表
	計画への反映：	将来像や基本計画策定の基礎資料として反映

（２）実施結果（一部抜粋）

各グループで「自慢したくなるまち」について、キャッチフレーズにまとめました。

●バスツアーでめぐる exciting な自然～隠された米沢の魅力をさぐる～

（交通、情報、利便性、個性、市民・まち、食べ物、自然、観光、経済面、特産品、学び、治安、住宅、イベント、若者向け施設、安心・ゆったり など）

●Dynamic 米沢！

（市民生活、観光、若者、スポーツ、災害、児童、食、労働、住、自然、伝統 など）

●もどりたい“ふーど”なまち米沢

（観光資源、願望、雪・自然、風土、交通、治安、食べ物、教育・子育て など）

●「来て」「見て」「知る」まち米沢

（若者の遊び場、インフラ、アクセス、お祭り、自然、歴史、観光・イベント、教育 など）



6 第3回（10/30）

（１）実施概要

第3回	テ ー マ：	「戻って来たい（住み続けたい）まち」とは？
	目的：	まちづくりの参加意識の向上、施策ニーズの把握、市内への就職・定着に向けた意見の検討
	実施内容：	①振り返りと今日の流れについて説明（グループ別自己紹介） ②「戻って来たい（住み続けたい）まち」について検討 ③発表
	計画への反映：	将来像や基本計画策定の基礎資料として反映

（２）実施結果（一部抜粋）

各グループで「戻って来たい（住み続けたい）まち」について、キャッチフレーズにまとめました。

●縁をつないで 自分をもっと好きになる

（支援・制度、環境、仕事、プライベートの充実、人、雪、考え方 など）

●夢叶うまち わくわく WORK 米沢

（労働、交通、イベント、環境、店、人、治安が良い など）

●Life&Economy～生活と経済がうるおう町 米沢～

（生活、交通、環境、イベント、娯楽、お金 など）

●アットホームなまち～カムバックよねざわ～

（交通、コミュニティ、食文化・自然、まち、イベント など）

●米沢の温かさを後世につなぐ

（インフラ、支援、歴史、自然、娯楽、食べ物、仕事、自然 など）

●稼げる 育てる 暮らせる3種の神器がそろうまち

（暮らし、仕事、交通、子育て、人間関係 など）



7 第4回（11/6）

（１）実施概要

第4回	テ ー マ：	10年後にどんなまちにしたい？
	目的：	市の魅力、目指すべき姿、市民の役割の検討
	実施内容：	①振り返りと今日の流れについて説明（グループ別自己紹介） ②新総合計画の将来像について検討 ③発表
	計画への反映：	将来像や基本計画策定の基礎資料として反映

（２）実施結果（一部抜粋）

各グループで本市の将来像（キーワード）について、考えてもらいました。

●ねっちょねば（never）！ 頑張る人が集まる町

- ・上杉藩のように、これからも粘り強くまちが続いてほしい！
- ・頑張る人が県外からも県内からも集まってもらえればうれしい！

●0才から100才まで人の温かさで心を灯す 米沢市

- ・小さい子どもから高齢者までみんなそれぞれが輝けるまちでありたい！
- ・人の優しさに包まれて、生きていけるようなまちにしたい！

●共に成長する 歴史あるまち 米沢

- ・高校や大学など学ぶ場所がたくさんあるので、学習面で成長できるまちにしたい！
- ・市にゆかりのある戦国武将たちがたくさんいるので、アピールしたい！

●ピンチに挑戦し、チャンス創造しつづける～活きのこるまち米沢～

- ・これからも人口減少が進む中で、どうやって米沢市らしさを出すかが重要！
- ・若者から高齢者までが、生きがいを持って、生きていけるまちにしたい。

●（魅力たくさん）なぜか住み心地の良い米沢

- ・米沢のいろいろな魅力が、人それぞれの住み心地の良さにつながると良い！
- ・今の住み心地の良さを守りつつ、1回来たら出ていきたくなくなるような米沢をつくっていききたい！

●なさねば成らぬの精神で自ら考え行動し未来を切り拓くまち米沢

- ・自らの決意を実行に移して、その実現を後押しするようなまちでありたい！
- ・諦めずに実行すれば、必ず未来は切り開けるというメッセージを米沢市から発信していきたい！

●「学べる」「働ける」「育てる」人の優しさで心地よい米沢

- ・市内に大学が3つもあるのは珍しいので、これからも守っていかないといけない！
- ・米沢市で就職したいと言う子を増やしたい！



8 第5回（11/20）

（１）実施概要

第5回	テ ー マ：	米沢市を見つめてみよう！
	目的：	分野毎のあるべき姿・必要な取組、市民の役割の検討
	実施内容：	①振り返りと今日の流れについて説明 ②各グループで各分野・テーマについて、あるべき未来と私たちができること、行政に期待することについて検討 ③発表
	計画への反映：	基本計画策定の基礎資料として反映

（２）実施結果（一部抜粋）

各グループで分野・テーマ毎に意見を出し合ってもらいました。

	あるべき未来	私たちができること	行政に期待すること
子育て・教育分野 ①子育て	・こどもを育てやすい環境 ・出産、育児で仕事を休んだ時の職場の理解、サポートがある	・地域のお年寄りのサポートがあった方がよい ・職場でのサポート体制を整える	・出産、就学時などの支援。経済的負担 ・交流できる施設の整備
子育て・教育分野 ②教育	・学校だけでなく地域全体での教育の整備 ・一度外にでてまた米沢に戻ってくる	・地区の方々が部活動の指導ができるようにする ・学校、先生を助けていく環境が必要	・郷土愛を育む教育 ・自ら考え主体的に動けるような教育が必要
子育て・教育分野 ③文化・スポーツ	・文化財を観光資源にする ・文化、歴史のまち「米沢」のイメージを強くする	・チームスポーツの参加人数が少なくて、あまりできないので人を集める ・文化財の整備を地域で行う	・施設整備等の支援
健康・福祉・医療分野 ①健康・医療	・充実した医療体制。選択肢があると良い ・健康診断のPRを大切に行う	・日常の中で意識的に歩くなどする ・食生活を整える、塩分控える	・ランニングイベント、ウォーキングイベントなど参加しやすい仕組みづくり ・健康診断の声かけ
健康・福祉・医療分野 ②社会福祉	・地域の誰もがふらっと立寄れる場所があると良い ・支え合う人を含めた横のつながり	・コミセン等（あるものを）活用してふれ合いの場をつくる ・地域の方々の理解を深める	・事業所の横のつながりをつくるきっかけづくり
健康・福祉・医療分野 ③高齢者福祉	・若い世代から高齢者が交流できる未来 ・それぞれの世代が年代を超えて支え合う	・あいさつ、声かけを当り前に ・健康で過ごせるよう、常日頃からの心がけ	・仲間づくりの場づくり
産業・経済分野 ①商工	・米織の知名度をより高める施設が必要 ・米沢ブランドの底上げ	・TEAM NEXT YONEZAWAの他の地域への波及	・TEAM NEXT YONEZAWAのコンセプトの市民への浸透、巻き込み ・米沢駅を注目してほしい。駅前開発を含め、イベント補助も充実してほしい
産業・経済分野 ②観光	・歴史と観光がよりつながるような、まちづくり ・地域（市、置賜）で観光ネットワークを構築	・教育・研修型の旅行先（学びの場）として選ばれるような取組が必要 ・リピーターが増えるような取組が必要	・二次交通の充実（デマンド交通の検討） ・観光と教育・文化の連携、シビックプライドの向上

	あるべき未来	私たちができること	行政に期待すること
産業・経済分野 ③農業・林業	・米沢の農産物・木材のブランディング、農家と企業との連携 ・儲かる農業への転換	・旅館の食事で生産者、農産品のPR	・林業に関心を持つ機会の提供 ・移住と農業、空き家対策の連携
環境・防災・社会基盤分野 ①防災・雪対策	・雪に強いまち！！ ・子どもたちが安心して通学できるまち	・雪かきをみんなが協力してできるようにする（情報共有） ・雪を楽しむ→克雪	・通学路、防雪柵を市道にも設置 ・道路の排雪をきっちりしてほしい
環境・防災・社会基盤分野 ②環境衛生・住環境	・ゴミがないキレイなまち ・バリアフリーやユニバーサルデザインの住環境のまち	・クリーン作戦の実施 ・花を植える（ゴミポイ対策）→意識付け（地区・子供会など）	・ゴミ拾いの時のポイント付与 ・空き家のリフォーム等へのマッチング（建設会社等への）
環境・防災・社会基盤分野 ③道路・公共交通	・渋滞のないまち！！ ・みんなが歩きやすいまち	・公共交通の利用	・乗合タクシーの拡充 ・公共交通を利用した際のポイント付与
協働・魅力創造・行財政分野 ①地域・コミュニティ活動	・大学生がもっとコミュニティ活動に参加できれば良い ・学生が自分のやりたいこととマッチングして参加する	・自分たちで考えて行政をまきこむ ・全員がスポークスマン、情報伝達	・キーパーソン養成 ・SNS 興味ない人にも届く仕組み
協働・魅力創造・行財政分野 ②男女共同参画・多文化共生	・お互いが理解し合うこと ・外国人（市内）の増加への理解	・できることから始める ・相手を知ること	・市民一人ひとりの自覚
協働・魅力創造・行財政分野 ③情報発信・行政経営	・デジタルを簡単に使いこなせるようになる ・デジタル的によかれと思ってやったが、裏目になることもある	・時代の流れにのる	・LINE 等、使い方を伝える ・窓口一本化



9 参加者アンケート結果（回答数：79）

1.ワークショップに参加して楽しかったですか？

回答	人数
1 楽しなかった	0
2 やや楽しなかった	0
3 普通	4
4 やや楽しかった	20
5 楽しかった	55

2.ワークショップの目的は明確だったと感じますか？

回答	人数
1 不明確だった	0
2 やや不明確だった	1
3 普通	3
4 やや明確だった	26
5 明確だった	49

3.ワークショップの課題やテーマに以前から関心がありますか？

回答	人数
1 関心がなかった	1
2 やや関心がなかった	5
3 普通	16
4 やや関心があった	19
5 関心があった	38

4.ワークショップへの参加により、新総合計画に対する理解度または関心度が高まりましたか？

回答	人数
1 高まらなかった	0
2 やや高まらなかった	0
3 普通	5
4 やや高まった	25
5 高まった	49

5.今後も同様のワークショップに参加したいと思いますか？

回答	人数
1 参加したくない	0
2 やや参加したくない	1
3 普通	14
4 やや参加したい	15
5 積極的に参加したい	49

6.その他、ワークショップについて感じたことや改善提案があれば教えてください。

- ・楽しかったです。
- ・もう少し縛りを入れることで、もっとユニークな案がでると思いました。
- ・同世代とは思えないプレゼン力に驚きました。近く存在だけではなく、高い能力を持つ人と今後も関わりたいです。
- ・楽しく米沢について考えることができたので良かったです。
- ・高校生という身近な人たちと話をしてみても、同じ意見だったり違う意見が聞けて楽しかった。
- ・いろいろな人と話せて楽しかったです。自分の意見が市の計画に使われると思うとワクワクします。
- ・すごく楽しく、また刺激ある体験でした。これが定期的に開かれると若者にとってもよい経験になると思います。
- ・初めて米沢について深く考えたのでとても良い経験になった。楽しかった。
- ・自らが考えもつかない意見がたくさん見られ、とても楽しいワークショップでした。
- ・スムーズに進んで、活発に意見もだせて楽しかった。

- ・このような素晴らしいものに参加させていただきありがとうございます。
- ・とても楽しく、良い経験ができました。
- ・いろいろな人と関わることができてとても楽しかったです。
- ・米沢についてたくさん話し合いができて良かった。
- ・今日の成果物が次のワークショップで使われると分かりましたが、具体的にどう使われるか知りたいと思いました。それを念頭に入れた上で、取り組めると良かったかと思いました。
- ・もし可能であれば、全体ミーティング⇒若者ミーティング⇒一般で終わりではなく、全体ミーティング⇒若者⇒一般⇒全体ミーティングだと成果も分かりやすいかと感じます。
- ・もう少し企業の皆さんもいると違った視線が見えてくるかと思いました。
- ・たくさん意見の交換ができ、貴重な機会でした。
- ・米沢市のことについて改めて考えることができました。
- ・将来の市について考えることが面白かったです。
- ・ワークショップの進行(話し合い)で行き詰まったときに、職員さんがアドバイスをくれたのはすごく良かった。
- ・市民が考えやすいテーマの選定となっており、アイデアが出しやすかった。
- ・出た意見を HP に公開ではなく、広報やポスター等で掲示すると、市民が知る機会にもなると思う。
- ・同世代の方々と米沢の未来について考えることができ、とても有意義な時間でした。
- ・普段できない前向きな話ができ楽しかったです。
- ・仕事以外で、こうやって人と関わることが少ないので楽しかったです。
- ・貴重な機会に参加させていただき、ありがとうございました。楽しいワークではあったものの、以前から市で推進している「挑戦と創造」のコンセプトはどこにいったのか？また、振り出しからスタートしてしまうのか？と疑問を感じた。良いコンセプトなので、ぜひ活かしていただきたいです。
- ・大変良かったです。
- ・米沢の未来を考えてくださる方が大変多いと思いました。全部参加できなかったのが残念でした。
- ・思っていたこと、感じていたことを発言できる場として良いと思った。
- ・良い取組なので、取組と結果の周知を図っていただければと思います。
- ・意外と時間がたつのが早く、もう少し深掘りしたい雰囲気もあったので3テーマではなく2テーマでも良かった。
- ・進め方がスムーズで分かりやすく、参加しやすい MTG だと毎回感じていました。すべての運営、大変お疲れ様でした。様々な方の、米沢への愛や今後の期待、アイデアを聞けて毎度勉強になりました。このような機会をまたつくっていただき、今後も意見共有ができれば嬉しいです。今回のレポート、市の HP だけでは見る人が限られてしまうと思いました。
- ・時間が足りなかった。
- ・結論ありきになく、P・D・C・A を回す事により前進するべきです。米沢活性化のために頑張ろう。
- ・KPI を出すコーナーがあると良い。
- ・市、行政に対して、受け身にならずに能動的に企業に対しても努力を促すようにしてほしい。
- ・時間が短い。